2021

一般社団法人 岩手県作業療法士会

認知症に関する活動計画（概要）

岩手県作業療法士会では、事業局　地域支援部地域包括ケア推進員会　認知症班として活動している。

県士会員の認知症者対応に関するスキルアップ研修、一般や他団体への啓発活動、行政との連携を中心に活動を計画している。

また、同委員会　介護予防班で作成した介護予防マニュアルについても、認知症対応に関する項目を追加する予定である。

認知症者対応に関するスキルアップ研修

２０１９年度から、９つの各支部ごとで認知症作業療法アップデート研修が開催できる様に、人材を育成するための研修を開催してきた。そのうち、３つの支部で支部単位の研修が開催出来た。

また、認知症作業療法に対する関心のある支部から、出前講座の依頼を受けた。「明日から活かせる情報」と希望があったため、アップデート研修のカリキュラムから、BPSDと認知症者に対するアセスメントの章を抜粋し研修を行った。

一般や他団体への啓発活動

JAいわて花巻より「通所介護とリハ職の連携」のタイトルで研修依頼を受けた。介護予防班と連携し、アップデート研修の内容を交えた研修を開催した。

行政との連携

岩手県若年性認知症支援ネットワーク会議への出席依頼があった。岩手県基幹型認知症疾患医療センターや盛岡市長寿社会課などが主催しているが、２０２０年度は書面開催となった。今後も、若年性認知症者に対する支援のあり方やコロナ禍におけるオンラインを活用した家族会の検討などが話し合われる予定である。

COVID-19（新型コロナウィルス）の影響・対応など

２０２０年度の研修や班会議の開催は、Web会議システム（ZOOM）を活用している。

RUN伴や認知症カフェ祭り等の他団体協力事業は、協賛や運営協力の調整を進めたが、全て中止となった。